

2005年10月25日 No.80

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

E-mail nugw@mu.biglobe.ne.jp

# 全国一般全国協

## 第15回定期大会の成功を受け 05秋闘に勝利しよう！

**新しい仲間を迎え、中小労働運動の前進のための決意を固めた大会**

全国一般労働組合全国協15回定期全国大会が9月10-11日、東京で開催された。全労協をはじめとする13団体の来賓を含め80名の参加で二日間にわたる熱心な討論を行い、満場一致で方針を採択、成功裏に開催された。今大会で東京労組、東部労組の加盟が承認・発表され、中小労働運動の全国結集をさらに推し進める決意を固めた。

**中小未組織労働者の組織化、非正規雇用労働者組織化キャンペーンに取り組もう！**

労働組合組織率は20%を切り、30人以下の企業でのそれは1%にも満たない状況だ。更に、この間増大している非正規雇用労働者は圧倒的に未組織労働者だ。組織化に挑戦すれば雇い止め攻撃が待っている。全国協は昨年、関西を中心に、非正規教員組織化キャンペーンに取り組んだ。今年は全国でこれに取り組む。労働相談全国ネットワークを準備し、未組織の組織化に取り組もう。

**生活できる年末一時金獲得、リストラ反対、争議の勝利を！**

大手企業の年末一時金はバブルがはじける直前の高水準に戻ったと言つ。しかし、この間の景気の回復は、一部の勝ち組企業の話だ。我々の職場の多くで、相変わらず賃金ダウンが続いている。生活できる一時金の獲得、ハイウェイ共闘にかけられている人減らし

攻撃を典型とする更なるリストラに反撃する闘いに取り組もう。そして、9・15判決を足がかりに国鉄闘争の勝利を目指す闘い、由倉、展開しよう。

**労使委員会の常設、解雇の金銭解決、ホワイトカラーエグゼンション、変更解約告知の導入をもくろむ労働契約法制定に反対しよう！**

労働政策審議会労働条件分科会で労働契約法に関する審議が始まった。労働契約法制研究会の本報告が9月15日に出され、労働大臣からの諮問を受けたものだ。毎月2回、来年の7月に中間報告を出すことを目指し審議が行われる。期限のある仕事以外は有期労働契約を認めない有期労働契約の

**反戦、反基地、憲法改悪反対の闘いに全力を！ 普天間移設反対、辺野古新基地建設を阻止しよう！ 自衛隊イラク派兵延長阻止の闘いを！**

小泉は衆議院選挙大勝を背景に、過去の戦争を賛美し、英霊を顕彰する靖国参拝を強行、テロ特措法の延長から自衛隊イラク派兵延長を目論んでいる。9条を改悪し、自衛軍を規定することを主目的とする草案を

発表、改憲に向け準備を進めようとしている。この改憲策動に反対すると同時に、普天間基地移設と言いがら辺野古への新基地建設・基地機能強化を進めようとする動きを阻止するために闘つ。

ヘラルド朝日、少年写真新聞、スーパータじまなど全国協が抱える全ての争議の勝利を目指し今秋の闘いを展開しよう。

# 新規加入で中小産別運動にはずみ



第15回全国一般全国協大会

## 新規加入 東京労働組合

私たち東京労組は、これまで「争議支援と組織化」をスローガンに、労働運動を進めてきました。

今回、私たちは全国協へ加盟して定期大会に参加し、志を同じくする全国の仲間と交流を深めることができました。このことは、私たち東京労組にとって素晴らしい刺激となり、大きな喜

びでもありました。

さて、今の社会は労働者の生活と権利をこれからますます脅かす状況にあります。このような中で、私たち労働組合は声を大にして自分たちの人間としての尊厳を主張し、より多くの仲間を求めていこうではありませんか。今こそ、私たち労働者が歴史の中へ大きな

## 新規加入

## 東京東部労働組合

執行委員長 岸本 町雄

一步を踏み出し、主人公となっていかなければなりません。私たち東京労組は、職場・組織などという小さな垣根を乗り越えて、労働者の大連帯を作り、労働運

動を前進させるべく、全国協の仲間と共に闘っていく決意です。皆さん！ 共に頑張りましょう。

私達東京東部労働組合は今年4月1日に臨時大会を開催し、全国一般全国協への加入を決議しました。

加入討議では、「なぜいま全国協加入か？」を半年間に渡って加入の意義の討議をおこないました。第一に中小企業労働者の生活破

壊に対する全国的反撃を強めるため、第二に憲法改悪阻止の中小企業労働戦線の統一が急務であるため、第三に首都圏での中小労働運動の統一を進めるため、第四に全国一般に東部労組としての新しい運動を提起するため、の4点を重点討論として、執行委員会、各支

部、そして全国一般な平賀委員長に講演いただいた全体討論会を開催して、討論を重ね、加入に到りました。

私達東京東部労組は、1968年に地域合同労組として結成してから37年になります。全労協には結成以来加入してきましたが、いわゆる単産加盟は初めてのことです。未経験のことがたくさんあると思います。これからは全国一般全国協の仲間と大いに学び、全国一般としての自覚を強め、頑張っていきたいと決意していますので、ぜひよろしくお願ひします。

## 第17回全労協大会が開催

9月25～26日、熱海での第17回定期大会が、代議員150人の参加で成功裏にちかたられた。9・11参院選で大勝した小泉政権と対決して、とくに小泉構造改革と改憲反対・イラク反戦、そして非正規労働者の権利確立、均等待遇実現などの課題をメインスローガンにかかげたものだ。

先の全国協第15回大会で新たに加盟した東京労組と東京東部労組とともに、大きな産別運動に発展させようと、東京南部・神奈川県・自立労連・大鵬薬品労組からも代議員が参加した。

大会は、冒頭に故子島・前事務局長とJRF福知山線事故犠牲者追悼の黙祷をおこなった。議長団に、小寺東水労代議員と平賀全国一般南部代議員を選出し、藤崎議長の主催者挨拶、中岡事務局長の経過報告と活動方針の提案で議事が始められた。質疑では、一日目に、9・15判決と国鉄闘争への支援要請と御礼が国労高崎と国労本部とから、郵政労働者ユニオンから郵政民営化反対の闘いの報告などがあった。

また、二日目には、ルイス・カレット東京南部代議員から外国人労働者の英会話講師の不当解雇と社会保険加入排除問題の訴え等々があった。最後に、国鉄闘争支援連帯、労働法制などの課題に対する本部答弁と議案、そして役員体制の再任を全体の拍手で承認した。



全労協大会で発言する森口中執



# 秋季年末闘争の柱に 定年延長・定年後の雇用を 希望者全員に

金属一般昭和電気鋳鋼労組  
執行委員長 天田 重雄

私達の労働組合では、今秋季年末闘争の具体的な取組として年末一時金要求3カ月分、労働条件改善要求は退職金の増額要求、60歳定年以降の雇用制度の協定化など4項目の要求を決定し、去る10月14日に団体交渉を開催し要求書を会社に

提出してきた。振り返れば3年前の02年度に賃金カット10%協力という、企業・労組経験のない大不況下、組織の存続をかけて、全国協遠藤書記長にも団交参加をしてもらいこの賃金カット協力をしてきたが、この4月から一定の賃上げも実現させ(賃上げ5千円)、生産体制は当初2,800トン体制から4,000トンを超える生産体制をとり生産活動をしています。こうした状況から、今年末闘争は一時金の期待感は一層高まっています。そして、労働条件向上の闘いは06年4月に改正高年齢雇用促進法が施行される中、60歳定年以降の雇用について希望者全員を雇用させる協定化を中心に取り組んでいます。改正法の内容は①定

## 全国一般神奈川 第8回定期大会開催

9月18日、横浜・開港記念会館において全国一般神奈川第8回定期大会が開催されました。大会は、議長に不当労と闘う郡司支部の丸山代議員を選出し、委員長挨拶、その後執行部より諸議案の提案がおこなわれ、この1年の闘いの総括と、運動方針、年間スト権の確立などの議案を圧倒的多数で確認しました。来賓では全国協平賀副委員長、神奈

川県共闘の仲間をはじめ、地域の13団体の仲間が駆けつけ連帯の挨拶をいただきました。大会に先立ちおこなわれた役員選挙では新執行委員8名の承認が報告され、永年書記長を務めてきた渡部書記長が退任し、若干若返った新執行体制となりました。今後とも全国の仲間、地域の闘う仲間と共に闘っていきたいと思います。

## 安倍川製紙労組 第37回定期大会開催

安倍川労組は10月15日37回目の大会を開きました。親会社である王子製紙が本州製紙と合併することにより、富士製紙、王子特殊紙へと2回の組織統合による1500人の会社となりました。富士工場では退職者一人が中皮腫で死亡したことがわかるなど、「責任ある補償」が争点になっています。職場の問題にこだわって、「存在感のある少数組合」が大会スローガンの一つでもありました。

## 遂に労災事故死発生！ 首都高速道路は安全対策をとれ！

ハイウェイ共闘

10月1日、道路4公団の民営化が始まった。この間、下請け労働者で組織する首都ハイウェイ共闘は民営化の実態が下請け・非正規労働者の生活と権利の破壊をもたらしっていると、賃金労働条件の切り下げと闘ってきた。そして、労働条件切り下げ、ETC(自動料金收受システム)での人員削減は必ず重大事故に結びつくとして、人員配置徹底と安全対策確立を訴えてきた。

装置故障を直そうとした収受労働者が進入した自動車にはねられ即死する事故が発生した。首都高速で初めてのETC死亡事故である。配置された収受員数が十分

であれば、進入自動車を停止させる装置が十分であれば、安全対策が十分であれば死亡事故には至らなかつた。危険を放置してきた公団民営会社首都道路(株)と受託会社の責任は重い。

ハイウェイ共闘は、直ちに首都道路(株)に対し事故の責任の明確化、安全対策の確立を求め事故説明会を開催させた。しかし首都道路(株)は有効な事故防止策

を採用しないまま現場労働者にヘルメット・蛍光ベスト・フラッター(三点セット)着用を求めるだけで、事故を労働者の自己責任にしようとしている。根本的な安全対策がなければ、三点セッ

ト着用は高速道路上では無益である。実際、事故後10月13日、市川料金所で再び収受員が跳ねとばされた。幸い、命に別状はなかったが会社の言う安全三点セットを着用し慎重に作業中の事故であった。これこそETC装置の根本的欠陥・危険性を示している。安全対策員の配置徹底など抜本的安全対策が不可欠である。ハイウェイ共闘は、今後さらに首都道路(株)、受託会社への責任追求と安全対策確立を求めるとともに、こうした実態を広く社会的に訴えていく。

# 闘いの報告

## 地労委闘争

### 全国一般神奈川郡司労組

2004年12月14日に神  
労委に申し立てた不当労働  
行為救済申立も、たった1  
年足らずで勝利和解を迎え  
る事となりました。忙しい  
中、応援の傍聴に来ていた  
だいた皆様には勇気付けら  
れとても感謝しております。  
おかげで会社も少しは反省  
する事でしょう。

例えば会社側も去年の今  
頃はIH I 労総の元委員長  
であった荒川和雄を労働担  
当として雇い入れ、組合つ  
ぶしに精を出していました。  
その荒川は、IH I の組合  
事務所で我々の仲間の人達  
に「全労協は皆が知ってる  
金取り組合だよ。」「入っ  
た人の末路は哀れだよ。」  
「何かされたら相談におい  
で、警察に手を打ってあげ  
るよ。」なんて迷言(名言)

私たちは写真新聞社分  
会は、組合潰しの二次争議  
中です。組合排除を強行す

を残しました。とても大き  
な御世話です。

その後、私達は労働委員  
会で組合側証人になり真実  
を述べたので荒川も内心穏  
やかではなかったでしょう。  
それでもまだまだ頑張りま  
す。労働委員会の審問に立  
ち、「お答えできません。」  
「お答えできかねます。」を  
連発です。いったい何をし  
て出てきたのやら……。し  
まいには会社側弁護士の小  
代も質問の最中に怒りだし  
「ハイと言えば良いんです！」  
なんて言い出す始末。誘導  
尋問どころの騒ぎではない  
ですね。結局どちらの末路  
が哀れだったんでしょう。  
我々は明るい未来に向け  
て頑張って活動していこう  
と思うので、これからもよ  
ろしくお願いします。

私たちが写真新聞社分  
会との一次争議は98年  
に和解するも、その後新た  
な組合攻撃が。組合組織だ

## 東京労組全国一般全労働者組合

### 少年写真新聞社分会

けでなく、組合員個人を狙  
う分断をしかけてきました。  
2000年高橋元分会長を  
職場内いじめで病気休職に  
おこしました。これは多  
くの支援で職場復帰できま  
した。しかし会社はこれら

## 新組合員紹介

### 大鵬薬品労働組合

2004年末以降新たに  
2名が大鵬薬品組合に加盟  
しました。そこで組合に入っ  
た経緯を中心に簡単に新組  
合員の紹介をさせて頂きま  
す。

最初に木田組合員の紹介  
をします。木田陽子さん  
(女性)は2004年12月  
24日に組合加盟しました。  
組合加盟に至った経緯は、  
2004年12月の定例人事  
異動にて当時の所属課長の  
好き嫌いだけで異動させら  
れたからです。「異動させ  
られた?」そう感じたのは  
異動の少し前に課長から課  
内での工程間異動を示唆さ  
れ、それに対して正当な理  
由があり拒否したところ、  
課長は部下を自分の思い通  
りに将棋の駒みたいに扱え  
なかつた事が気にくわなかつ  
たみたいで12月の定例人事

事件の責任を全く認めず、  
争議の風化、組合の消滅を  
もくろんでいます。私たち  
は会社が組合の存在を認め、  
まともな労使関係を築くよ  
う、闘っていく所存です。

異動で木田さんを異動した  
のです。この課長は過去に  
も部下が自分の要求通りに  
動かない時は人事異動で自  
分の課から放り出すといっ  
た事があり、今回の異動も  
木田さんに対する報復人事  
だという事が判ります。木  
田さんはこの様な課長のや  
り方は許す事が出来ません  
でしたし、心もすぐく傷つ  
いたそうです。

その後、組合加盟してか  
らは団体交渉で協議した結  
果、課長からの謝罪を勝ち  
取る事が出来ると同時に、  
今度異動した課(職場)で  
も組合と会社との交渉で木  
田組合員の希望に沿った仕  
事にする事が出来ています。  
次に木村組合員の紹介を  
します。木村猛さん(男性)  
は2005年7月5日に組  
合加盟しました。木村組合

員が組合に入った経緯も木  
田組合員と同じ様な事であっ  
て木村さんの所属の課長は  
木村さんを軽視した馬鹿に  
した様な発言をしました。  
また自分のお気に入りでは  
ない部下に対しては態度が全  
然違っていました。今後こ  
の様な上司の下では働きた  
くないと感じ、早急に他課  
へ異動したいと思い組合に  
加盟したのでした。組合加  
盟後は団体交渉で協議し他

## 新自由主義グローバリゼーションに反対し、

### 釜山APEC、香港WTO反対の闘いを!

11月12日から18日、韓国  
釜山で、APEC (アジア  
太平洋協力機構) 総会がフッ  
シュも参加し開催される。  
韓国では「戦争と貧困を拡  
大するAPEC反対!」をスローガ  
ンに、「シュ反対!」をスローガ  
ンに、二週間の連続行動が取  
り組まれ、18日には10万人  
を組織し国民大会を行うこ  
とが呼びかけられている。

12月13日から18日、香港で  
WTO (世界貿易機構) 閣  
僚会議総会が開催される。  
シアトル、カンクンと2回  
のWTO閣僚会議総会で、  
アメリカを中心とする多国  
課への異動を要求していま  
す。今後も頑張つて木村組  
合員の希望通り、絶対に異  
動を勝ち取りたいです。  
以上簡単ですが2名の新  
組合員の紹介(組合に入っ  
た経緯等)をしました。今  
後も2名の新組合員共々、  
助け合いの精神を忘れる事  
なく組合活動を行っていき  
たいと思いますので大鵬薬  
品労組をよろしく願いま  
す!

環境保護団体、労働者民衆  
の抵抗と低開発国の抵抗に  
よって阻止された。再び、  
香港で民衆の力が多国籍企  
業の要求する貿易秩序を跳  
ね返せるか。アジアを中心  
に、全世界から多くの社会  
運動団体、農民、労働者が  
結集しようとしている。  
日本からも韓国、香港に派  
遣団を出し、ともに新自由主  
義、グローバリゼーションに  
反対する運動に取り組もう。